

こころとカラダを大切に
女性が自分らしく輝くまち



精神科医さわ先生の 講座！



塩釜口こころクリニック院長 河合 佐和 先生

◆子どもが本当に思っていること ～発達障害・不登校児の母として、 精神科医として～

さわ先生は、三重県出身で、発達ユニークな娘2人を育てる母であり、精神科医でもあります。

子どもの不登校や行きしぶりに直面している人、子どもの発達に不安がある人など、親が抱える悩みに、母と精神科医の両方の立場からお伝えする講座を開催します。

とき 9/13(日) 10:00～11:30 場所 くわなメディアライヴ1階多目的ホール

料金 無料 定員 100人(先着順)※託児先着10人 申込 QRコードから

申込開始 8/5(水) 12:30



申込



講座詳細

問 SDGs推進課(☎ 24-7441 FAX 24-2474)

いつまでも
自分らしく

住み慣れた地域で暮らすための「自立支援」 ～「できる」喜びをもう一度。あなたらしい生活へ～



年齢を重ねても、住み慣れた桑名市で自分らしい生活を続けたい。そのために今注目されているのが「リエイブルメント」という考え方です。皆さんの「できる」を増やし、日々の生活をサポートするサービスと、心強い味方についてご紹介します。



リエイブルメントってなに？

・・・日々の生活に支障が出てきたとき「再びできるようになること」

リエイブルメントを実現するために専門職を中心としたチームが、短期間で集中的に関わり、生活の課題解決を支援。「ご自身の役割」を取り戻すことで、生きがい(QOL)やウェルビーイング(心身ともに満たされた豊かな生活)の向上につなげる」ことを目標とします。

「やってあげる」から 「自分でできる」へ

専門職の過度な介助を減らし、皆さんが本来持つ「自分でできる力」を引き出し、自信を取り戻します。

「訓練」ではなく、 実際の生活場面で「工夫」を

身体的なトレーニングだけでなく、「料理をする」「郵便物を取りに行く」など、実際の生活で困っている動作をスムーズに行う工夫を一緒に見つけます。

周囲の「見守り」が 未来の自由に

周囲の人が手を貸しすぎず、できることを「見守る」ことが、ご本人の将来の自由な生活につながります。

あなたの自立を応援！短期集中予防サービス

専門職があなたの「元の生活」を取り戻すサポートをします。



市HP

くらし いきいき教室 (通所+訪問)

医療・介護の専門職が送迎付きでサポート。通所での機能回復と、自宅訪問による生活環境アドバイスを組み合わせ、実践的に改善します。



いきいき訪問 (訪問)

リハビリ専門職が生活の場へ訪問。実際の生活環境を見ながら、動作のコツや環境調整をアドバイスします。



栄養 いきいき訪問 (訪問)

管理栄養士が訪問。元気な体をつくる食事の工夫や、栄養のとり方を分かりやすくアドバイスします。



市HP

※ご利用に関するご相談は、お住まいの地区の地域包括支援センターへ

心強い味方が誕生！「桑名市地域リハビリテーション連絡協議会」

今年3月、地域のリハビリ専門職(理学療法士・作業療法士・言語聴覚士など)による協議会が立ち上がりました。

行政とリハビリ専門職がタッグを組みます！

今年度からは、手すり設置や福祉用具購入後、専門職が生活環境を評価しアドバイスする「住宅改修・福祉用具連携型いきいき訪問」が試行的にスタート。その他、さまざまな取り組みを通じて、皆さんのウェルビーイングを実現できるよう、協議会と市が協働してしっかりとサポートします！



問 介護予防支援室(☎ 24-5104 FAX 26-1548)

地域を支える「農業の多面的機能」～みんなで守る農地と暮らし～

<農業の多面的機能>

私たちの暮らしを支える農業には、食料を生産するだけでなくさまざまな役割があります。これを「農業の多面的機能」と呼びます。具体的には、大雨の際に雨水をため込み、洪水を防ぐことができます。また、農村の景観を守り、多くの生物のすみかになっています。さらに、地域の伝統文化や人々のつながりを育む場として大切な役割を果たしています。

私たちの暮らしを支える4つの大切な働き



<多面的機能支払交付金のご案内>

多面的機能支払交付金は、地域と共同で多面的機能を支える活動や地域資源の質的向上を図る活動を支援する交付金です。市内では、33地区で多面的機能支払交付金を活用した環境保全活動を実施しています。

市内の嘉例川地区では、毎月環境保全活動に加え、地域の子どもたちを対象とした農業体験を実施しています。こうした活動は、農地を守るだけでなく、地域の交流を深め安心して暮らせる環境づくりにもつながっています。

農地と地域を未来へつなぐため、一人一人の理解と参加が大きな力になります。皆さんも地域活動に参加し、ふるさとの豊かな環境と一緒に守っていきましょう。



農業体験の様子

問 農林水産課(☎ 24-1205 FAX 24-1479)